

○7 番（大野一行君）

7 番、大野です。

まず質問の前に、本日の質問の要旨の①②の質問順番を変更させていただきました。議長から許可をいただきましたので、これから質問いたします。

まず、質問の主題です。河川の災害対策について問います。

質問の要旨です。町内の河川は、災害対策が十分に行われているのか、町が管理する河川の状況を問います。

まず、②の質問から入ります。

河川の管理は、時間と費用がかかる案件であるので、予算など、計画的に管理される必要があります。過去の管理状況を踏まえて、町の見解を問います。が、まず始めに、担当課長から今日までの河川管理の状況を伺います。

○議長（濱野良一君）

建設課長 森田哲也君。

○建設課長（森田哲也君）

大野議員のご質問にお答えします。

町が管理する河川は 118 河川、総延長約 55km あります。

管理につきましては、住民からの通報や地元からの要望があった箇所を中心に、その都度、現地確認を行い対応しておりますが、率直に申し上げ、すべての状況を把握しきれてはいないところです。

○議長（濱野良一君）

大野一行君。

○7 番（大野一行君）

私の議会事務局からの資料によりますと、この河川の管理については、過去にお二人ほどの議員が質問されております。その当時から、河川の管理がなかなか難しいと。過去には人口が多いですから、地域の皆さんの協力を得ながら少しずつ管理もできてたということだそうです。

ですが、現在、人口減とともに高齢化でなかなか地域の人たちの、今までの協力も得られないという新しい局面になっています。そういう意味では、なかなか大変ですが、やはりこの近年の異常気象、つい最近も 100 年ぶり的大雨という沖縄にありました。本当に油断できないところにあります。そこで、この 118、大変な数ですが、最高責任者の岡野町長に伺います。これらの河川は、土庄町行政の責任を持って行うというのが、私、考えてますが、岡野町長のお考えを伺います。

○議長（濱野良一君）

岡野町長。

○町長（岡野能之君）

大野議員のご質問にお答えいたします。

先ほど担当課長から説明したとおり、本当に土庄町においては、河川の数というのは多くあります。そのようなところで、おっしゃるとおり以前はですね、自治会清掃だとか、そういったようなところで、河川の清掃をやってきておられました。まあ高齢化も進み、そういうようなところが対応できてないところが状況でございます。私も今日朝、雨ひどいというところで、朝４時半ぐらいからちょっと町内ずっと２時間ぐらい回ったんですけれども、やはり詰まってる所たくさんございます。

しかしながらですね、河川の管理には時間と費用がかかります。すべてには対応できていない状況ですが、限られた予算の中、緊急度の高いものから河川改修を実施してまいります。

また、地元からの要望を踏まえた現地調査や職員による出水期前のパトロールおよび目視点検は、丁寧かつ計画的に実施しており、対策が必要なところについては、土砂や雑木の撤去、小規模な修繕などは業者あるいは職員自らができる範囲で随時対応しております。洪水等による災害を未然に防止するため、今後も計画的な河川環境の整備に努めてまいりたいと考えております。以上でございます。

○議長（濱野良一君）

大野一行君。

○7番（大野一行君）

大変前向きな答えをいただきました。

担当課長に伺います。現在時点で、地元から災害対策を要望されている河川はおありでしょうか。また、その内容をお聞きしたいと思います。

○議長（濱野良一君）

森田課長。

○建設課長（森田哲也君）

現在、地元から対策等を要望されている河川数は 23 河川で、17 自治会から要望を受けております。そのうち 2 河川については、今年度、自然災害防止事業として護岸整備を実施し、また 1 河川については、自治会長と現地調査を行った結果、土砂の堆積や樹木の繁茂により洪水時に流水阻害による水位上昇のおそれがあり、早急な対策が必要と判断されたため、職員による雑木の撤去を行ったところであります。

○議長（濱野良一君）

大野一行君。

○7番（大野一行君）

担当課長に伺います。誠に申し訳ないんですが、具体的に、つい最近の事例を

あれば、お答えいただきたいと思います。

○議長（濱野良一君）

森田課長。

○建設課長（森田哲也君）

つい最近のですね、大谷自治会から見てほしいとの連絡があった渕崎大谷川を現地で自治会長と現地確認を行い、早急な対策が必要なことで職員が撤去等を行いました。

○議長（濱野良一君）

大野一行君。

○7 番（大野一行君）

課長に伺います。今、さっそくですね、取り組んでいただいているわけですが、これで解決したということの答えなのか。それとも、あとどういう作業が残っているのか、そういうことをお聞きしてるんです。よろしくお願いします。

○議長（濱野良一君）

森田課長。

○建設課長（森田哲也君）

早急な対応というのは樹木の撤去のみで、要望されていた土砂の撤去等は建設課の職員だけでは無理なので、カルテとして残して予算要求して続けて行っていきたいと考えております。

○議長（濱野良一君）

大野一行君。

○7 番（大野一行君）

わかりました。ということですので、今後とも、ぜひ、地域から要望があるというのは、それなりに緊急であろうということですので、前段に申し上げましたが、なかなか、河川の管理は本当に大変なのはわかります。しかしながら、住民の安全を考えますと、課長おっしゃられたように、計画的にできる限り、すみやかに取り組んでいただきたい、いうのをお願いを申し上げて、次の質問に移ります。

質問の主題、2 番目です。公共用施設の耐震性について進捗状況を問います。

3 月議会でも質問しましたが、土庄東港港務所の耐震対策について進捗があったのかを問います。お願いします。

○議長（濱野良一君）

建設課長 森田哲也君。

○建設課長（森田哲也君）

大野議員のご質問にお答えします。

公共用施設の耐震対策は、港務所に限らず大切なことであり、必要と認識して

おり、現在、建設課内の管理、建築グループで協議をスタートさせたところであり、耐震対策には、現状調査を行ったうえで、耐震診断、耐震化方法の検討といったプロセスを踏んでいく必要がありますが、いずれも相応の費用を伴いますので、実施計画を検討していく中で優先順位等も考慮してまいりたいと考えております。以上です。

○議長（濱野良一君）

大野一行君。

○7 番（大野一行君）

課長の答弁のとおりでございまして、なぜ私が再度質問してるかと申し上げますと、これ、人的被害が起きてからでは遅いというのがあります。ですので、課長おっしゃられたように、優先順位からすると、さまざまなそれなりの調査をしますと、この土庄東港港務所、一番に調査をすべき事案であろうということを重ねて申し上げておきます。議会で 2 度質問してますから、もし人的被害があれば、その責任は全面的に行政が負わなければなりません。このことをきちっと申し上げて、この質問は終わります。

続いて、質問の主題の 3 番目です。町有地の管理について伺います。

質問の要旨です。現在、駐車場に利用している町有地の表記、表示が見受けられない。表記が必要ではないかと考えており、表記することが行政の透明化にもつながると考えています。町の見解を問います。

また、町有地は町民の財産でもありますから、できる限りわかりやすく表示をされるべきであろうというふうに考えています。お答えください。

○議長（濱野良一君）

総務課長 濱口浩司君。

○総務課長（濱口浩司君）

大野議員のご質問にお答えいたします。

遊休町有地の利活用の一環として、現在、旧土庄高校跡地および旧東洋紡績跡地の 2 カ所を駐車場として利用しております。以上、2 カ所が今利用しておるような状況でございます。

○議長（濱野良一君）

大野一行君。

○7 番（大野一行君）

具体的な管理状況の中身を問います。お願いします。

○議長（濱野良一君）

濱口課長。

○総務課長（濱口浩司君）

大野議員の再質問につきまして、お答えいたします。

旧土庄高校跡地につきましては、香川県農業協同組合に 60 台分貸し付けております。現在は、かさ上げ工事中でありますので、とのたる館の裏側を利用させていただいております。工事完了後に改めて公募により利用者を募集する予定としており、表示につきましては、その後に整備したいと考えております。

また、旧東洋紡跡地は、周辺の住民等の方および町の職員駐車場として 103 台分を利用しております。

今後、こどもさくら公園の拡張計画に伴い、利用形態が変更になる予定ですので、表示については、その後に検討したいと考えております。以上です。

○議長（濱野良一君）

大野一行君。

○7 番（大野一行君）

担当課長にお伺いします。これらの町有地の駐車場利用に料金の発生等があるのかどうか、お答えいただきたいと思います。

○議長（濱野良一君）

濱口課長。

○総務課長（濱口浩司君）

大野議員の再質問にお答えいたします。

この 2 カ所ともですね、有料で貸し付けしております。

○議長（濱野良一君）

大野一行君。

○7 番（大野一行君）

この駐車場ではありませんが、俗に言う町有地ですので、当然ながら料金の発生があつて当たり前というふうに考えてますので、極めて正しい処理をされているというふうに考えています。そういうことで、私の質問は終わります。